

皆様おはようございます。

本日、ここに議員各位の御参集をお願い申し上げ、令和4年第5回江田島市議会を開会するに当たりまして、御挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、平素から市政運営に対し、格別の御理解と御協力をいただきまして、深く感謝いたしております。

また、市民の皆様には早朝から、臨時会の傍聴にお越しいたいただき、心から御礼を申し上げます。ありがとうございます。

秋晴れの気持ち良い日が続いております。虫の音に秋の深まりを感じるとともに、朝夕の空気も肌寒い季節になってまいりました。

この夏、猛威を振るっておりました新型コロナウイルス感染症の第7波も、8月19日をピークに減少傾向を継続しており、広島県が8月12日に発出した「医療非常事態警報」も9月13日には解除され、全国旅行支援制度も10月11日からスタートをしております。

本市における月別感染者数も、8月839人から、9月417人、今月は10月26日現在、54人と、減少してきております。しかしながら、皆様には、引き続き、医療を守り、行動制限を避けるためにも、一人ひとりが感染リスクを抑えるための取組をしっかりと行うことをお願いいたします。

ウイズ・コロナのもとで、市民の皆様の御理解と御尽力によりまして、私たちのまちをキラリと輝かせる、日常を取り戻す様々な取組が大きく動き始めておりますこと、私自身、日増しに力強く感じてきております。

9月4日、小用みなと公園等を会場に開催されました、ETAJIMA・イマナビフェスタ in みなとオアシスえたじまでは、お子様連れの若い御家族を中心に、市内外から約3千名の来場者で賑わいました。

このイベントは、地域おこし協力隊のプロモーション推進員の牛尾奈緒子さんが、本市の「今」を体感してもらうことを目的に企画したもので、ステージでは、バンドや市内4中学校の吹奏楽部による合同演奏ほか、9月まで本市の広報大使を務めていただいた矢野帆夏さんが登場し、会場に歌声を届けていただきました。

また、江田島コミュニティセンターでは、さとうみ科学館の里海に暮らす生き物の紹介展示や、東京から本市へ移転したGeneleaf (ジ-ソリーフ) のプログラミングを学べる無料教室などもあり、大人も子どもも楽しみながら、本市の「今」を学んでいただく機会となりました。

このほか、市政報告書にございますとおり、10月13日には、能美中学校で、

第37回江田島市少年健全育成意見発表大会が開催され、10月16日には、県立大柿高等学校をメイン会場として、第35回ヒロシマMIKANマラソン大会及びふれあい産業まつりが、そして、10月22日には、海上自衛隊第1術科学校で、オータムフェスタ2022及び江田島湾海上花火大会が開催されました。

コロナ禍にあって、初めて開催したイマナビフェスタでは、市内外から訪れた多くの若い方々の賑わいと新しい学びの形がございました。

中止、縮小開催を余儀なくされた少年健全育成意見発表大会では、本市の中学生の皆さんの夢と希望、明るい未来をしっかりと感じることができました。

3年ぶりに開催されたMIKANマラソン、産業まつり、オータムフェスタ、そして、本市の夜空を華やかに彩ってくれました海上花火大会、そのすべてが、市民の皆様、関係機関、企業、団体の力を結集した、江田島市民、総ぐるみの大切な絆を深める交流の場でございました。

いずれの行事にも大切な開催の目的があり、大きな成果と次期開催への課題がございました。しかしながら、私は、関係機関、団体の方々、市民の皆様の持つ底力、大きなポテンシャルを感じとることができました。

本市は、来年、11月1日には、4町合併から丸19年、そして、新生江田島市として20年目を迎えることとなります。

本市の未来に羽ばたく子どもたちのため、そして、現在のまちづくりを支えてくださる全ての方々のため、引き続き、市民の皆様の生活に寄り添い、求められる施策の実現に尽力してまいります。

議員各位の一層の御支援と御協力をお願いいたします。

さて、今議会では、「電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金」及び台風14号に伴う漁港施設災害復旧事業についての補正予算につきまして御審議をお願いすることといたしております。

何とぞ十分な御審議をいただき、議決を賜りますようお願いを申し上げます。

9月開会の定例会以後の市政の主な事柄につきましては、市政報告書のとおりでございます。よろしくお願いいたします。

以上で、報告を終わらせていただきます。